

イチゴの大雨後の管理について

浸水、冠水したハウスでは、水が引いた後にできるだけ速やかに下記の対策をとって下さい。

1 薬剤散布1回目（洗い流しを兼ねた病害対策）

- イチゴの株が水に浸かったり、風雨による土の跳ね上がりで葉が汚れている場合は、下表の薬剤を参考に、葉に付着した泥を洗い流すように十分量を散布して下さい。
〈樹勢の回復には、葉の泥を落として光合成をさせることが最も重要です〉

| 登録種類名 | 薬剤名 | 特徴 |
|----------------------|------------------|-----------------------------------------|
| 銅水和剤 | ICボルドー66D | イチゴ炭そ病で登録あり。広範囲の病害に効果が期待できる。展着剤を加用する。 |
| | コサイド3000 | イチゴ炭そ病で登録あり。広範囲の病害に効果が期待できる。展着剤を加用する。 |
| | コサイドDF | イチゴ角斑細菌病で登録有り。広範囲の病害に効果が期待できる。展着剤を加用する。 |
| イミノクタジナル ベシル酸塩水和剤 | ベルコート フロアブル | イチゴ炭そ病、うどんこ病で登録あり。 |
| フルジオキソニル 水和剤 | セイビアーフロアブル 20 | イチゴ炭そ病、灰色かび病で登録あり。 |

2 薬剤散布2回目（病害対策）

- 浸冠水して樹勢が弱ると、各種の病害が発生しやすくなります。洗い流してから数日後には、炭そ病、うどんこ病防除を念頭に、改めて防除を徹底して下さい。防除の際は、薬害が発生しやすい薬剤は避け、収穫前日数など使用方法に注意して下さい。

3 樹勢回復（葉面散布）

- 根が水に浸かって樹が弱っている場合は、葉面散布で樹勢回復を図って下さい。葉面散布には、窒素、リン酸、加里、微量要素等をバランス良く含んだ資材（メリット青または黄、アミノメリット青または黄など）が適します。

4 畝の補修

- 畦がくずれたほ場では、できるだけ畦直しをして、根が露出しないようにする。マルチングは土壌が適度な水分となつてからにしてください。